

日時：令和7年7月4日（金）

会場：文京区立駒本小学校

授業者：田中 妙子 教諭

主題名：よりそう心 B 親切、思いやり

教材名：「心の信号機」（新版 みんなのどうとく4 Gakken ）

講師：元都小道 会長 田代 敏博先生



【研究授業】

- ・導入では、「知らない人が困っていいたり、悲しんでいたりするとき助けてあげたいと思いますか。」の質問に対して、半々の意見がいたことを押さえ、特に「いいえ」に対しての理由を示し、児童に問題意識をもたせていました。
- ・範読では、スライドと音を活用して臨場感溢れる教材提示をしていました。
- ・展開では、親切や思いやりが「気付き」→「想像力」→「葛藤を乗り越える勇気」→「具体的な行動」という順番で段階的に発問していました。
- ・児童自身のはっきりすることができない感情を心情メーターでタブレットを活用し、2回表しました。
- ・中心発問では、「ぼくが、決心したのはどのような思いがあったからでしょう。」では、自分の考えをどのように伝えたのだろうか？という発問に対して、児童から「助けてほしい」や「助けてほしいに違いない」など、道徳的価値に関わる考えがたくさん出ていました。

【協議会】

- ・研究主題「児童が主体的に道徳性を養う道徳科の指導」の視点に沿った協議が行われました。
- ・指導の工夫の点では「心情メーターを2回表すのはよいが、どうしてこのように表したのかを児童同士が話し合えるとよい」という意見が出ました。主体的という視点では、「自己を見つめる振り返りの時間をたっぷりとした方がよい。」
- ・講師の田代先生からは、「時系列を考え発問を立てること、主人公の『迷い』や『不安』を児童が感じられるような発問を考えることが大切」という話がありました。また、「時間配分がうまくいかないのであれば、心情メーターを1回にしてじっくり児童に意見を聞くこともでき、また振り返りの時間も十分とれる」と主体的に道徳性を養うための授業構成の工夫について御指導いただきました。